

令和4年度 大阪府立和泉総合高等学校 第1回 学校運営協議会 議事録

日 時 令和4年6月3日(金) 10:00 ~ 12:00
場 所 和泉総合高等学校 2F エンパワメントルーム
出席者 委員(敬称略) 寺脇 会長・上條 副会長・山内 委員・松田 委員・小西 委員
学校・事務局 加納 校長・谷口 事務部長・岡野 教頭・高橋 教頭・舘 首席
徳増 首席・東 教務主任・植田 生徒指導主事・中村 進路指導主事

議 事

1. 開会の辞

参加者の自己紹介

2. 校長挨拶

今年度は通級指導教室のスタート年度。まだ試行段階だが、夏休み明けから本格実施予定。
今年度大阪府立の高等学校で、本校を含め6校が新たにパイロット校に指定された。

3. 学校の状況報告

①学校経営計画について(校長より)

令和3年度の評価について報告、令和4年度の計画について説明

②通級指導教室設置について(高橋教頭より)

パワーポイントを使って和泉総合の通級のイメージについて説明

- ・通級とは何か?
- ・現状と今後の支援体制について
- ・生徒へのアセスメントについて
- ・個別の教育支援計画について
- ・自立活動としての単位認定について
- ・通級指導教室の愛称「e-ラボ」の紹介

③進路状況について報告(進路指導部より)

- ・今年度の特徴として、進学希望者が例年より多い
- ・1人2社応募可能の体制がスタートする

④生徒状況について報告(生徒指導部より)

- ・4月以降、近隣からの苦情が相次ぎ、対応に苦慮している
- ・制服(カッターシャツ)のデザインの一部変更
- ・頭髪指導の今後について

⑤教務部から報告（教務部より）

- ・入学者選抜状況の推移
- ・追認指導の現状と課題
- ・観点別学習評価の実施

4. 校内見学（全員で）

寺脇会長より、進路指導部の生徒閲覧室について、指摘をいただいた

5. 全体協議・質疑応答

①上條委員より

- ・遅刻の多い2年生については、学校全体でテコ入れが必要ではないか
- ・苦情については、その内容を生徒に伝えることが重要

②川内委員より

- ・課題解決に向けては、クラス経営のあり方について再度検討を
- ・教育庁肝いりの「通級指導教室」については、スキームをつくと同時に「評価の指標」もつくっておくと良い

③松田委員より

- ・池上小学校も、あと5年で小中一貫校となる。今後は「生徒同士をツナグ」授業が必要
- ・通級指導教室・教育相談の体制づくりには「支援コーディネーター」の役割が重要
- ・志願者数の下降も気にはなるが、それより大事なものは「いずそうに来て良かった」と入学した生徒が感じる事

④小西委員より

- ・通級指導教室について説明いただき、たいへん良く分かりました
- ・内容は、PTAのメンバーにも返していきたい